

三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校



1年間、ご愛読ありがとうございました。

校長 新村和彦

ある5年生の女の子が、登校途中で普通ごみと一緒に生ゴミが捨てられているのを見て、普通ゴミの捨て場から生ゴミの捨て場に生ゴミの袋を移してくれました。その姿をたまたま見守り隊の方が見て、新村に教えてくれたのです。



その女の子が言うのは、「普通ごみのところに、生ゴミが捨てられているのに気が付いたから。」「ごみが混ざっていたら、ごみを集める人が大変だと思ったから。」だそうです。しかし、大人も含めて、気付いても、そのまま通り過ぎてしまう人の方が多いのではないのでしょうか？ 頭でわかっているけど、実際に行動に移すことはとても難しいことだと思います。（わかっちゃいるけど・・・です。）ですから、この女の子のさりげない行動は、実に素晴らしい行動だと思います。

藤枝中央小の重点目標は、「三方よしを実行する子」です。ご存知だと思いますが、「三方よし」とは、「自分よし」「相手よし」「みんなよし」のことです。

「自分よし」は、「自分だけよし」という自己中心的な考えでなく、子ども自ら努力をし、自分を高めていく姿勢（態度や心情）を表しています。ですから、「自分よし」という考え方は、「まず自分よし」から始まります。「努力する自分」「思いやりのある自分」「正しい判断・行動ができる自分」等であれば、きっと、相手にもいい影響を及ぼすはずです。（「相手よし」）。結果、「その子の周り（家庭・地域も含む）」「その子の学級」「その子の学年」「藤枝中央小学校」へ「みんなよし」が波及していくものと信じて、令和元年度に、重点目標を変更しました。

この女の子の姿は、まさしく「三方よしを実行する子」にほかなりません。女の子の何気ない1つの行動が、「家庭よし」「地域よし」「学校よし」を実感させ、藤枝中央小の教育活動、家庭・地域の教育力の成果が、このような女の子の行動に結びついているとすれば、何よりも嬉しいことです。そして、あらゆる本校教育活動の関わりの中で、「三方よし」が実現されることになれば、「子どもよし」「教職員よし」「学校よし」ということになります。



令和3年度も、道徳だより「三方よし」は、道徳の授業内容のこと、子どもとの関わり・世の中の出来事・新村の体験等から感じたことをお伝えしてきました。「三方よし」の内容に関して、保護者の方から、直接電話でお褒めの言葉をいただくこともあり、とても嬉しく、とても励みになりました。（20号しか発行できず、少し心残りではありますが・・・。）1年間ご愛読ありがとうございました。